2014年（平成26年）宮崎「橋の日」実行委員会 活動報告

「橋の日」が今年で、全国41都道府県に拡がりました。

第28回　宮崎「橋の日」イベント写真報告

8月4日（月）「橋の日」イベントには、宮崎市の戸敷市長、国土交通省宮崎河川国道事務所の竹林所長から心のこもったご挨拶をいただきました。
9月13日～14日、宮崎県内の歴史遺産を巡る「地域のお宝再発見ツアー（県北編）」を実施いたしました。

橋への感謝を込めて献花

笑顔がいっぱい！

戸敷市長のご挨拶

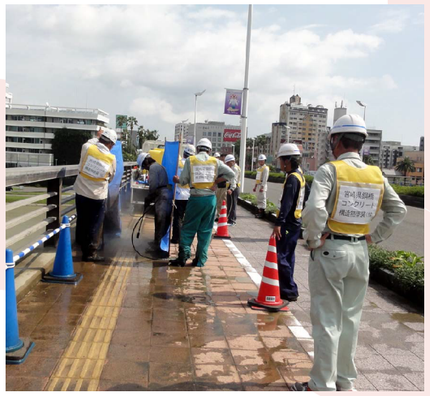
橋橋の橋磨きを実施

地域のお宝再発見ツアー（県北編）

県内の歴史遺産を紹介し、教育や観光等の地域づくりにつなげることを目的にツアーを企画。
昨年に引き続き、今年は日向市、延岡市、日之影町、高千穂町へと訪問しました。

天岩戸神社にて

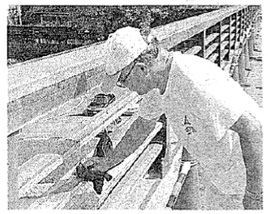
延岡城山公園「城山の鐘」にて



宮崎県鋼橋コンクリート構造物塗装組合による点字ブロックの清掃

紙芝居「福島邦成と橋橋」訪問上映

◎建設業者らが欄干など清掃



「橋の日」（8月4日）にちなみ、宮崎「橋の日」実行委員会（日高孝会長）はこの日、宮崎市の橋橋の欄干や歩道を清掃した＝写真。建設業者や市職員ら約80人が参加し、日ごろ利用している橋の役割や大切さを再認識した。

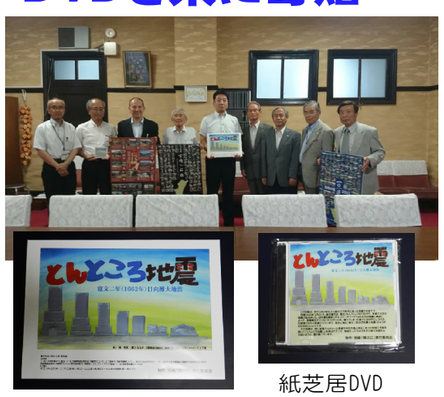
戸敷正市長らが橋橋北詰めの親柱に献花した後、参加者は歩道に移動。手すりの汚れを拭いたり、ごみを拾ったりしていた。

同市佐土原町下田島の会社員永島田良一さん(64)は「吸い殻やガムがたくさん落ちていて驚いた。普段使っている橋橋がきれいになって良かった」と話していた。

2014.8.12　宮崎日日新聞掲載

「とんところ地震」紙芝居・DVDを県に寄贈

完成した紙芝居・DVDを県に寄贈



紙芝居

紙芝居DVD
（標準語と宮崎弁）

テレビ朝日にて「橋の日」紹介

紙芝居で津波避難訴え

外所地震の被害や迅速な避難の大切さを訴える紙芝居とDVDを県に寄贈した日高会長（左）

「橋の日」実行委　県へ寄贈

宮崎「橋の日」実行委員会（日高孝会長）は9日、同実行委が外所地震をテーマに作成した紙芝居「とんところ地震」（全8枚）と、朗読付きで紙芝居を紹介するDVD（約15分）を県に寄贈した。

外所地震は1662（寛文2）年に発生し、宮崎市木花地区などに甚大な被害をもたらした。紙芝居は巨大な津波が家や田んぼをのみ込む中、住民が高山に逃げる様子などを描き、少しでも高い場所に避難することの重要性を訴えている。

県庁を訪れた日高会長ら6人が内田欽也副知事らに紙芝居5冊、DVD10枚を贈った。内田副知事は「東日本大震災が発生した際、地元に残る被害の話を語り継ぐ大事さをあらためて実感した。さまざまな場面で活用したい」とれを述べ、日高会長は「たにかく高いところに避難するよう子どもたちに伝えていきたい」と話していた。

同実行委は「人と人の懸け橋、未来への懸け橋になる活動をしよう」と、県内約30の企業・団体からの寄付金約30万円を集め、今年5月までに紙芝居90冊、DVD200枚を作成。「残りの紙芝居を公立図書館、DVDを沿岸部の小学校に寄贈したい」と話している。

外所地震題材に作成

2014.7.3　宮崎日日新聞掲載

宮崎「橋の日」実行委員会　事務局
担当：鶴羽（つるは）　電話：090-9566-4159
ホームページは「橋の日」で検索！